

本リリースは、Riverbed Technology が 10 月 11 日 (米国時間) に発表したプレスリリースの日本語抄訳版です。

2018 年 10 月 22 日
リバーベッドテクノロジー株式会社



リバーベッド、デジタルエクスペリエンス管理ソリューションの最新版で クラウドパフォーマンスの可視性を大幅に改善

- あらゆるクラウド環境ですべてのアプリケーションのデジタルエクスペリエンスをモニタリングする機能を提供
- Kubernetes、Pivotal Cloud Foundry、Red Hat OpenShift 向けに、コンテナオーケストレーションに対する APM のトランザクションレベルの可視性を拡張
- パケットおよびフローのデータを活用し、クラウド内のネットワークのパフォーマンスをモニタリングするための革新的な機能を提供

米国サンフランシスコ発: デジタルパフォーマンス企業である Riverbed® (以下リバーベッド) は、本日、同社のデジタルエクスペリエンス管理 (DEM) ソリューション「Riverbed SteelCentral」の最新版を発表しました。同ソリューションでは、クラウドアプリケーションのパフォーマンスを大幅に向上させる機能が強化されました。新しいアプリケーションパフォーマンス管理 (APM) 機能およびネットワークパフォーマンス管理 (NPM) 機能の導入により、クラウドネイティブなアプリケーションやクラウドベースのネットワークの可視性を向上させ、クラウドアーキテクチャに対するパフォーマンス管理を根本から変えます。本日の発表をもって、デバイスベースのエンドユーザエクスペリエンス、アプリケーション、ネットワークのモニタリングを統合し、デジタルエクスペリエンスの正確な測定と管理を行う総合的なビューを提供する、業界で最も包括的な DEM ソリューションがさらに強化されます。

クラウドの採用は、大規模なビジネストランスフォーメーションと今日のデジタルビジネスの驚異的な成長を実現していますが、企業では可視性の大きなギャップや管理範囲の課題も浮上しています。最も近代的な企業においてハイブリッドアーキテクチャが現実のものとなり、今やクラウドは企業インフラの延長と考えられている一方で、市場で利用可能なパフォーマンス管理ツールの多くは、ハイブリッド型のクラウド環境とユーザのデジタルエクスペリエンスに対して、統合されたユーザ目線の可視性を提供できていません。リバーベッドが先ごろ実施した 2018 年度クラウドモニタリング実態調査において、IT ネットワークおよびクラウドビジネスの意思決定者が抱えている問題について尋ねたところ、回答者の 92% がクラウド環境におけるパフォーマンス管理の課題に直面していることが分かりました。また、回答者の 60% が、企業よりエンドユーザが先にクラウドパフォーマンスに関する問題に気付いたと述べています。

今回の Riverbed SteelCentral の最新版において、リバーベッドはクラウドパフォーマンスをモニタリングするための新しい包括的なアプローチを取り入れています。これにより企業は、あらゆるクラウド環境ですべてのアプリケーションのデジタルエクスペリエンスをモニタリングできるようになります。

ブログ(英語): 調整された自動車のようにハイブリッドクラウドを管理

<https://www.riverbed.com/blogs/manage-hybrid-cloud-like-fine-tuned-auto-steelcentral.html>

リバーベッドの SteelCentral 担当バイスプレジデント兼ゼネラルマネージャー、マイク・サージェント (Mike Sargent) は次のように述べています。「クラウドの採用が一般的になるなか、クラウドの導入やアプリケーション自体がいつそう複雑になり、分散化が進んでいます。エンドユーザエクスペリエンス、アプリケーション、ネットワーク、クラウドベンダー自身のパフォーマンスを確保することは難しい課題です。Riverbed SteelCentral 最新版は、デジタルエクスペリエンスの正確な測定と管理を行うための最も包括的なアプローチを企業に提供するほか、ハイブリッド環境とクラウド環境におけるアプリケーションとネットワークのパフォーマンスの可視性も向上させています。Riverbed SteelCentral は、エンドユーザエクスペリエンスを重視するとともに、当社のビッグデータプラットフォームをサポートしており、エンドツーエンドのパフォーマンスモニタリングをどのベンダーにも勝る規模で提供します」

IDC のネットワークインフラストラクチャ担当バイスプレジデント、ロヒット・メーラ (Rohit Mehra) 氏は次のように述べています。「パブリッククラウドの利用は拡がり続けており、当社の調査によると、企業の 41% はパブリッククラウドを非常によく利用しており、これらユーザの 72% はマルチクラウド環境を導入しています。¹ ですから、組織の 60% が今後 2 年間にクラウドサービスモニタリングと可視性に投資する予定であることに驚きはありません。² Riverbed SteelCentral の最新版は、企業のハイブリッド環境とクラウド環境におけるアプリケーションとネットワークのパフォーマンスの可視性に、新しい包括的なアプローチを提供します。クラウドアプリケーションのパフォーマンスと可視性を向上させるソリューションへのニーズが急速に高まっている今、タイムリーなソリューションといえます」

Riverbed SteelCentral の最新版では、コアソリューションが以下のとおり大幅に強化されています。

- クラウド内のパケットの可視性: AppResponse Cloud ソリューションの最新版は、Amazon Web Services (AWS) 向けにパケット情報の収集と分析を行います。
- クラウド内のフローの可視性: SteelCentral NetProfiler の機能が拡張され、さまざまなクラウド環境にわたるフローや、クラウドと企業間のフローをモニタリングできるようになりました。
- 今日のクラウドネイティブアプリケーション向けのアプリケーション可視性: AppInternals が Kubernetes、Pivotal Cloud Foundry、Red Hat OpenShift と統合されたことで、アプリケーションの開発とクラウドへの実装に伴い、企業は可視性を維持し、今日のマルチスタックアプリの複雑なエコシステムを管理できるようになります。

CenterPoint 社のテクノロジー事業担当バイスプレジデント、ビバリー・マエスタス (Beverly Maestas) 氏は次のように述べています。「CenterPoint のミッションは、お客様の複雑な業界資産ロジスティクスとイ

¹ IDC CloudView、2018 年 5 月

² エンドユーザ NPM 調査、IDC、2017 年 11 月

インフラのニーズに対応するとともに、持続可能な雇用を創出し、コミュニティを構築することです。当社のデジタルトランスフォーメーションの取り組みは、そのミッションにおいて必要不可欠な要素であり、クラウドの活用は当社の戦略の中核を成しています。Riverbed SteelCentral の新機能によって当社は、ハイブリッド環境全体にわたるネットワークパフォーマンスのモニタリングが可能になり、アプリケーション、ログ、ネットワーク、システムについての統合的な可視性が得られます。その結果としてもたらされるクラウド内パフォーマンスの可視性により、当社の取り組みは明瞭になり、それが顧客ベースにもたらす影響も明らかになります」

Kubernetes、Pivotal Cloud Foundry、Red Hat OpenShift に対するクラウドネイティブ APM の可視性を強化

デジタルトランスフォーメーションの取り組みによるプレッシャーは、企業が自社のアプリケーション環境を開発、実装し、管理する方法を根本から変えました。企業は、それらのビジネスクリティカルな取り組みで事業の目標利益を実現する必要があるだけでなく、ますますポータブルで一時的になる環境においてそれを成し遂げなければなりません。企業がマイクロサービスアーキテクチャと構成可能なアプリケーションを使用してアプリケーション開発を加速させるなかで、コンテナやアプリケーションのオーケストレーションと提供のために、Kubernetes、Pivotal Cloud Foundry、Red Hat OpenShift などのソリューションの採用が増えています。

Riverbed SteelCentral APM は、クラウドネイティブなエコシステムに完全に適応したスケーラブルなビッグデータアプローチを採用しています。今回の最新版において、Riverbed SteelCentral の APM ソリューションである AppInternals では、Kubernetes、Pivotal Cloud Foundry、Red Hat OpenShift 内で実行されているトランザクション、コンテナ、サービスに対する完全な可視性を備えた最新のクラウドベースのアプリケーションアーキテクチャのサポートが大幅に強化されています。Riverbed SteelCentral APM は、Docker コンテナや Pivotal Cloud Foundry でアプリケーションを実行している企業がパフォーマンス上の問題を緩和し、より適切なユーザアダプションを推進できるよう支援します。

さらに、リバーベッドのパートナーシップと Pivotal スタックへの統合により、アプリケーション担当部門はトレースするリバーベッドの分散アプリケーションを Pivotal のクラウドネイティブプラットフォームに簡単かつスムーズに導入し、アプリケーションパフォーマンス、顧客満足、顧客維持を確保しながら、より安定してアプリケーションをリリースすることができます。

Pivotal 社のテクノロジーパートナーシップ責任者、ニマ・バディエイ(Nima Badiey)氏は次のように述べています。「Fortune 100 社企業の 3 分の 1 以上が Pivotal を使用しています。アプリケーションパフォーマンスの正確なモニタリングは、高品質なソフトウェアを提供する上での基本です。Pivotal Cloud Foundry (PCF) 向けの Riverbed SteelCentral AppInternals は、PCF 上で実行されるアプリケーションに関するエンドツーエンドなインサイトを提供します。この製品は、大規模なエンタープライズシステムにおいてさえ、実行されたトランザクションの診断の詳細を保存するため、ユーザは顧客や事業に影響を及ぼす前に問題を解決できます」

ハイブリッドクラウドに対する NPM の新たなアプローチ

今回の最新版には、初のクラウド NPM ソリューションが導入されており、クラウドのネットワークトラフィック全体を幅広く調べることも、クラウドネットワークの相互作用を詳しく調べることも可能です。NPM に対するフローベースのアプローチとパケットベースのアプローチの両方を活用することで、企業は既存のオンプレミスの専門知識を基に、それをクラウド環境まで拡張できるようになりました。NPM の最新リリースには以下の新機能が含まれます。

- **Riverbed SteelCentral AppResponse** の仮想アプライアンスを仮想プライベートクラウド (VPC) で Amazon EC2 インスタンスとして実装できるようになりました。
- 新しいレポート機能により、企業はクラウドネットワークのパフォーマンスをオンプレミスネットワークのパフォーマンスと合わせて調べ、ハイブリッドエンタープライズの包括的なビューを提供することができます。
- **Riverbed SteelCentral Agent** が拡張され、クラウド内のパケット情報とフロー情報の両方を収集できるようになりました。このエージェントはリバーベッドの単一ライセンス戦略に基づいており、企業は NPM、APM、エンドユーザエクスペリエンス管理 (EUEM) にわたってエージェントを再導入できます。

リバーベッドについて

デジタルパフォーマンス企業であるリバーベッドは、企業がビジネスのあらゆる側面においてデジタルパフォーマンスを最大化できるよう支援し、顧客が可能性を見直せるようにします。一元化された統合型 **Riverbed Digital Performance Platform** は、デジタルエクスペリエンス管理、クラウドネットワーキング、クラウドエッジソリューションを強力に組み合わせ、デジタル企業向けの近代的 IT アーキテクチャを提供するとともに、オペレーションの俊敏性の向上やビジネスのパフォーマンスと業績の飛躍的な改善を図ります。

リバーベッドの年間収益は 10 億ドルを超え、3 万社以上の顧客には **Fortune 100** 社の 98% および **Forbes Global 100** 社の 100% が含まれます。詳細は、jp.riverbed.com のウェブサイトをご覧ください。

*本文中に記載のあるリバーベッドならびにリバーベッド製品およびサービスの名称またはロゴは、Riverbed Technology, Inc. の商標です。その他すべての商標は、所有者である各社に帰属します。

<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>

リバーベッドテクノロジー株式会社

広報担当: 橋本

TEL: 03-5423-6729

E-mail: Marie.Hashimoto@riverbed.com

または

共同ピーアール株式会社

担当: 小野寺・仙場・石谷

TEL: 03-3571-5236/5275 / FAX: 03-3574-9364

E-mail: riverbed-pr@kyodo-pr.co.jp